



結
yui

2018. 5. 19 No.81

発行「憲法9条の会つくば」
〒305-0005
つくば市天久保 1-10-12 1-401
TEL 080-5888-7824
Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

3000万署名の取り組み —9条改憲の国会発議をさせないために

賛同人の皆様、3000万署名にご協力いただき、ありがとうございます。
国会で9条の改憲発議をさせないように、引き続きご協力をお願いいたします。

LOVE9条

あなたも
3千万人
署名を!

ストップ!
安倍改憲

「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」は5月10日、声明「1350万人を超えた! さらに3000万人をめざそう」を発表しました。声明では、安倍政権の政治と行政の責任や道義とは無縁の姿が明らかになり、この状況ともあいまって、「安倍首相のもとでの9条改憲」は世論の過半数が反対している。「安倍4項目」の改憲案は自民党でも最終案にならず、憲法審査会でも議論されず、「今国会での改憲発議」は、事実上不可能になった。1350万の署名は大きな成果を上げた。しかし安倍首相と自民党改憲本部は「年内の早い時期に発議をめざす」と強弁、まだ勝負はついていない。「彼らに憲法改悪をあきらめさせ、退陣に追い込むためには、手を緩めず、もうひと押しふた押しの努力が必要である。3000万人の目標達成のため、ともに一層の努力をしていただきますよう、お願いいたします」と呼びかけています。

つくば市では、今年1月に「安倍9条改憲NO! 市民アクションつくば連絡会」が発足し、多くの市民団体・個人、そして4つの政党が3000万署名に取り組んでいます。

「憲法9条の会つくば」は、「連絡会」の賛同団体として、署名用紙と独自の受取人払い返信封筒を1万セット用意し、賛同人の皆様や分担地域に配布しました。また、教会の信者に訴えて255筆集めた方や、桜ニュータウンでは住民が協力し合って署名を呼び掛ける体制がつくられました。昨年10月から



3000万署名に取り組み、当会に寄せられた署名総数1534筆(4月25日時点)を「九条の会」に届け、全国集約に貢献しました。この後も多くの署名が寄せられています。しかし、「3月中に3000筆」という目標に達しませんでした。「全国市民アクション」の声明に答え、引き続き3000万署名目標達成を目指し、一回り、ふた回り、署名の輪を広げていきましょう。

まだ署名をお済でない方、一筆でも結構です。是非署名を届けてください。お送りした受取人払い返信封筒をご活用ください。または、切手を貼っていただいて、「憲法9条つくば」事務局(憲法9条の会つくば 〒305-0005 つくば市天久保1-10-12、1-401)に送っていただきますようお願いいたします。

(共同代表・3000万署名担当 野崎浩司)

「自民党の9条改憲骨格案」を見て

自民党9条改憲骨格案のなかみ

「9条の2」を新設して三つのことを書き込む。

- ①憲法9条が「自衛」を妨げないこと。
- ②自衛の実力組織として自衛隊を保持すること。
- ③自衛隊の指揮者を内閣総理大臣とすること。
- ④自衛隊の行動が国会の承認その他の統制に服すること。

2018年3月22日、自民党憲法改正推進本部の全体会合で9条改憲条文のとりまとめ骨格案が示されました。要点を枠に囲んで示します。

四内容はいずれも重要ですが1200字では全てを扱うゆとりがありません。今回は①と②に的を絞らせていただきます。

まず、①の自衛は国民の多数がイメージする「自国の防衛」に限定されません。国連憲章51条に示された「集団的自衛」をも含みます。同盟国防衛のためであれば、戦争ができることとなります。現憲法は自衛戦争を含む一切の「戦争」を否認します。その原則を、「9条の2」は、集団条件の下での戦争「是認」に根本から切り替えるのです。

しかし国民投票が済むまでの間、安倍首相は「自衛＝自国防衛」であるかのように言い続けるでしょう。国民投票で勝ったら、「自衛概念が集団的自衛を含むのは国際法の常識だ」と開き直るに違いありません。いつものやり口です。

一定条件下での「戦争是認」原則の樹立は、自国防衛の仕方にも影響を及ぼします。それが次項の②です。

②の特徴は、「必要最小限度の実力組織」でなく「実力組織」と表現されたことです。自衛隊は、これまで爆撃機や航空母艦などの攻撃型兵器を持つことができませんでした。憲法9条が「攻撃」を禁じていると解されてきたからです。

ところが①の記述で9条が無視できるとなれば、ミサイルや核兵器の装備にまで踏み出せる根拠が生まれます。

※①と②を書き込むことで、「戦力は持たない」「交戦権は認めない」と決めた9条2項が無意味な規定（死文）になり下がります。

この案文で自衛隊が「戦争できる組織」に近づくのは間違いないでしょう。が、憲法が変わってもすぐに自衛隊が戦争できるわけではありません。軍刑法や軍法会議設置法がなければ、自衛隊の発砲はヤクザの発砲と同じ位置づけになるからです。とは言え、やはり「改憲させない」ことを第一に目指すべきだと思います。（賛同人 中山熙之）

憲法フェスティバル（2018/05/03：水戸・千波公園）

特別企画「今、沖縄からみる戦争法と憲法9条」

報告は、① 瑞慶山 茂・弁護士：沖縄戦被害の国家賠償訴訟

② 清水 早子さん：宮古島で進む戦争準備

「自衛隊を憲法に明記」という安倍9条改憲を先取りするように、南西諸島である「琉球弧の島々」を軍事要塞化することによって、中国の海洋進出を阻もうという国家戦略が進められている。

①安倍9条改憲の「国民を守るため」というのがウソであることは、太平洋戦争の沖縄戦を振り返れば、明らかである。戦争で命を落とした軍人・軍属には、戦後、国家賠償がされ、軍人恩給も施されたが、民間人に対する謝罪と補償は放置されてきた。「国家無答責論」と「戦争被害受忍論」がある。今また、「民間」より「軍事」に価値を置く国家体制が強化されようとしている。

②沖縄戦の多大な被害、戦後の飢餓を経験してきた宮古島に、観光ブームに沸く今、陸上自衛隊ミサイル基地の建設が押しつけられている。政権寄りの市長は推進派で、陸海空すべての自衛隊の軍備の“展示場”にされようとしている。米国の要請で、日本がGPS衛星から米軍に正確な位置情報を送るシステムを作る計画もある。すべて、軍事的な“緊張”を高めるための策動である。（後藤）

「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2018年5月10日現在
総数 979名 (市内 709名)
◆3000万署名 5月10日現在 1724筆

当会では毎月第3日曜日に定例署名、9日に9の日署名を行なっています。その他、「戦争をする国づくりNO@つくば」と共に、毎月3日「アベ政治を許さない」スタンディングと署名を行ないます。

4月14日 国会行動

▼4月14日、国会議事堂前行動に友人と二人で行って来ました。着いたのはかなり遅れたため、政党等主な方の発言は終わっていて残念でした。国会正面の道に入ると人、人、人で一杯で、なかなか前に進めません。「アベは辞めろ！」の声が大きく響き、私たちも周りの人たちと同じ思いを強く感じました。前半の集会が終わり、後半の若者主体の集会に移行する時間帯に、それまで歩道いっぱいになっていた人垣が崩れ、車道へとあふれ出て大きなうねりとなり逮捕者も出たようでした。後日主催者発表では5万人の参加者とのこと。この国民の怒りの声がなぜ安倍首相や政権に届かないのか、もどかしさも感じています。(佐藤良子)

5月1日 つくば中央メーデー

▼5月1日、第89回つくば中央メーデーが中央公園で開催され、参加者は約700人でした。実行委員長挨拶はメーデーの起源、働き方改革法案の問題点、働く人にとっても平和が大前提などの内容でした。今回、初めてつくば市長からメッセージが寄せられたとの報告もありました。来賓挨拶、参加団体決意表明では、東海第2原発再稼働、働き方改革法案、9条改憲などに反対の取り組みを強めていく決意と安倍内閣の退陣をめざそうとの表明もありました。デモ行進の後には、団体ごとに昼食をとりながらアトラクションを楽しみました。当会も来年は参加者を増やし、昼食をとりながら交流できたら良いと感じました。最後になりましたが、会場での3000万署名行動で66筆の署名と、プラカードコンクールでは優秀賞と賞金2000円をゲットしました。Oさん、Nさん、Hさん、ご活躍ありがとうございました。(メーデー実行委員 武田照子)

5月3日 憲法フェスティバル

▼悪天候が予想された憲法記念日でしたが、意外に天候の回復が早く、午前10時のフェスティバル開会時間には雨は上がっていました。しかし参加者はほぼ1000人と例年に比べやや少なめでした。会場は10課題のテント企画、17の模擬店が並び、賑やかでした。午前中のメイン企画「県内9条の会・3000万署名交流会」は、長田さんの司会のもと25団体、約60人の参加でした。各団体の代表の方に①3000万署名への取り組み状況、②その中で新しく取り組んでいる活動内容、③今後どのような活動を考えているか、などの報告をしていただきました。写真はつくば連絡会の活動報告をされる山本さんです。

午後の記念講演は、沖縄から来られた瑞慶山茂弁護士と清水早子宮古島ピースアクション実行委員会代表が田村先生のコーディネートで沖縄での活動について話されました。要約を2面に載せましたので、あわせてお読み下さい。

毎年、つくばで担当している絵手紙展では今年「絵手紙体験講座」を企画しました。

1時間半ほどの体験時間に10人の体験者があり半数が男性だったのが驚きでした。今年の入賞者は、優秀賞に横井美喜代さん、佳作に佐藤早智子さんが選ばれました(横井さんの作品は1面にあります)。憲法川柳は、毎年つくばから多数の入賞者があります。日頃の研鑽の賜物でしょうか。今年、菊池二三五さん、澤田紀一さん、石津嘉昭さん、和気正芳さん、佐藤紀子さんが入賞、後藤義昭さんが実行委員会賞を獲得されました。

(穂積)



映画

ペンタゴン・ペーパーズ/最高機密文書

スティーヴン・スピルバーグ監督
2017年/アメリカ/116分

ベトナム戦争がケネディ政権下で始まって数年（1966年）、「泥沼」の戦況という前線からの報告を受けたマクナマラ国防長官は、政府専用機から降り立ってマイクを向ける報道陣に、「情勢は満足いく進歩を遂げている」と答えた。翌年、彼は「北爆は効果を上げていない」とジョンソン大統領に縮小を勧告。しかし、北爆は拡大された。マクナマラは国防長官を辞任する。

そのマクナマラが極秘に作成して保管した国防総省の7千ページの報告書が漏洩する。スクープしたのは、ニューヨーク・タイムズ（NT）。共和党のニクソンが大統領になって3年目、1971年6月だった。

アメリカの歴代政権は、国民を欺いて「負けるとわかっている戦争」に若者を送り続けていたのだ。10%は南ベトナム支援のため、20%は共産主義抑止のため、70%は「アメリカの名誉」のために、ニクソン政権下で戦争はますます泥沼に突き進んだ。

映画は、「報道の自由」と「国家の権力」に焦点を当てて1971年の推移を描く。日常的に新聞社の幹部は、融資してくれる大銀行に取り入り、政府の高官との親密な関係を保つことに、社の命運を託す。けれど、国家権力にとって“不都合な真実”の報道に対し、政権はその“権力”を使って新聞を潰しにかかる。

ニクソン政権が記事差し止めを連邦裁判所に要求して孤立したNTだが、ワシントン・ポスト（WP）も文書を手入して追跡し、圧力をはね返す。もちろん、大きな困難があった。社の顧問弁護士からは、情報源が同じなら「国家機密保護」違反の「共謀」の罪になると脅され



る。切迫した状況の中で、WPの編集主幹ベン・ブラッドリー（トム・ハンクス）らは、真実を知らせるという報道の使命を貫く。「新聞は、権力を見張らなくてはならない。他に誰がやる!？」マクナマラと個人的な親交のあったWPの女性社主キャサリン・グラハム（メリル・ストリープ）も葛藤の末、掲載に踏み切る決断をする。

ぎりぎりまで刷り上がって発刊されたWPの報道記事を受け、他の新聞社も次々と記事化していく。そして、最終的にニクソン政権の敗訴を決めた連邦最高裁の法廷の被告席に並んだブラッドリーとNYの幹部が握手するシーンも印象深い。「報道の自由」を守ろうとする新聞各社の連帯と連携が「国家の権力」を追い詰め、その力は「ウォーターゲート事件」の報道につながっていく。

- ・「報道は国民のためにある。統治者のためにはない。」
- ・「自由への個人の抵抗を大統領が『国家への反逆』と言うなら、『私が国家だ』と言っているのと同じだ。」（後藤）

行動予定

- 5月18日(金) 18:00~19:00 つくば駅改札口 宣伝行動
- 5月19日(土) 13:30~世話人会 松代交流センター・結81号発行
- 5月20日(日) 12:00~13:00 アルス前署名行動
- 6月3日(日) 13:00~13:50 ライトオン前署名行動 14:00~16:00 つくば連絡会拡大会議 :吾妻交流センター
- 6月9日(土) 12:00~13:00 9の日署名 アルス前
- 6月16日(土) 10:00~12:30 事務局会 市民活動センター(予定)
- 6月17日(日) 12:00~13:00 定例署名 アルス前
- 6月18日(月) 18:00~戦争法反対全国統一行動 TX つくば駅改札前
- 6月24日(日) 10:00~つくば市母親大会
- 7月3日(火) 13:00~13:30 アベ政権を許さないスタンディング
- 7月9日(月) 12:00~13:00 9の日署名 アルス前
- 7月15日(日) 12:00~13:00 定例署名 アルス前
- 7月21日(土) 13:30~世話人会 並木交流センター・結82号発行

インフォメーション

- ◆6月10日(日) 茨城県母親大会 大洗文化センター 他 10:00~16:00 講演 飯田美弥子さん(弁護士) *つくばからバスチャーター予定。
- ◆6月18日(月) 映画「キューポラのある町」上映 水戸県民文化センター小ホール 10時~、14時~2回上映 問い合わせ茨城映画センター (029-226-3156)
- ◆6月23日(土)~6月26日(火) 辺野古、伊江島ツアー 茨城県・つくば市平和委員会
- ◆6月24日(日) つくば市母親大会 市民ホールつくばね・筑波交流センター 10:00~分科会 ①若い世代のしゃべり場 ②教育…学校の問題 ③笑いヨガ ④原発 講演(午後) 雨宮処凛さん「本音で語ろう 生きやすい社会って!」